



おもちゃ
メーカー

まな あそ しょう ひん せ かい じゅう
学びと遊びのある商品を世界中へ。
ひやくねん まえ こ え がお
百年前から子どもたちを笑顔にしています。



もっと、くわしく
動画でみてみよう！

ぎん ちょう さん ぎょう かぶ しき がい しゃ
銀鳥産業株式会社

所在地／名古屋市中区大須3-1-80 TEL.052-241-9341 <https://gincho.co.jp/>

創業／1925(大正14)年7月 従業員数／36名(2025年3月現在)

わたしの仕事

私たちは、みなさんがよく知っているような、子ども向けの文房具や知育玩具を企画・販売している会社です。歴史は古く、今から100年も前から続く長寿の企業です。「遊びながら学べる」「みんなで一緒に遊べる」ユニークな商品を、今までに3,000アイテム以上生み出しています。日本だけではなく世界中の子どもたちやその家族の笑顔が増えることを願って、これからも新しい製品をどんどん世の中に展開していきます。



▲本社社屋

? どんな商品を、どうやって開発しているの？

アイデアマンがいっぱいの社内。子どものような自由な発想と、ていねいな進行で商品を生み出します。



ちい くん ぐ
知育玩具とは、もじとお ちりよく 文字の通り「知力を育てるおもちゃ」だよ

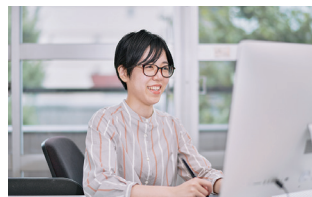


1 企画立案



「まなび」と「あそび」をキーワードに案を出し、どう遊んでもらうか、より楽しめるようにするにはどうすればよいかを考え企画を練ります。自分の手で試作品を作り、実際に遊んでみて、どんどん改良します。

2 デザイン



企画した案をもとに、具体的なかたちを細かく作り上げます。色や形を設計するだけではなく、パッケージや、商品に魅力的に伝える紹介文、説明書といった文章なども考えます。

3 サンプル作成と確認



「売り物」になる前に、工場に依頼してサンプル品を作り、希望通りにできているかなどを確認します。何度か修正してもらうこともあります。修正部分をすべてクリアすると実際の生産に入ります。



商品にほどこされた工夫をしてみよう

子どもが手にするものだから、細かいところまで安全に気を配っています。



ほかにもこんな商品を作っているんだね



モノを作って売るだけではなく、商品を使って遊ぶ体験そのものを提供しています。



▲ワークショップ



はたら ひと こえ
働く人の声
マーケティング本部
新商品開発チーム
しげの りな
重野 里奈さん

マーケティング本部
営業チーム
いち かわ ゆき
市川 友貴さん



子どもが学んであそべる知育玩具の企画とデザインを行っています。この仕事の魅力は自分から考えて工夫して知育玩具を作れることです。遊び方から商品内容・デザイン・パッケージまで自分で考えて作った玩具で、子どもとその家族と一緒に楽しく遊んでいる姿を見ると、うれしい気持ちになります。

問屋や玩具店などに商品などを提案します。営業は人と人との関係性が大事なので、訪問頻度を増やして取引先の話をしっかり聞くことを意識しています。担当が私で良かったと言ってもらえたときは「頑張ってたよな」と思います。また、自分が提案した商品が店頭で並んでいるのを見かけたときは、いつもうれしいですね。